

「EBウイルス関連疾患におけるウイルス感染細胞の定量・同定に関する研究」 に関する情報公開

1. 研究の対象

2009年4月21日以降で、以下に掲げるEBV関連のリンパ増殖性疾患/悪性リンパ腫が疑われた患者。

伝染性単核症、血球貪食症候群、慢性活動性EBV感染症、鼻性NKリンパ腫、EBV関連Tリンパ腫、NK白血病、加齢性EBV関連Bリンパ増殖性疾患、移植後リンパ増殖症など。

2. 研究目的・方法・研究期間

<研究目的>

EBウイルス関連疾患の診断・発症病理の解明には、末梢血中の感染細胞数の定量に加え、EBウイルスが感染している細胞の同定が必須である。名古屋大学の研究者らはFISH法を用いたEBウイルス感染細胞の同定法を開発した。本研究ではこのFISH法が、EBウイルス関連疾患の非侵襲的診断法として有用かどうかを検証し、さらにEBウイルス関連疾患の発症病理の解明に役立てることを目的としている。

<方法>

EBウイルス関連疾患が疑われるもしくはEBウイルス関連疾患と確定診断された患者を対象とし、患者より末梢血10mLを採取する。末梢血中には解析に十分なEBウイルス感染細胞が存在せず、骨髄中に存在することが判明した場合には骨髄液を用いる。検体の収集と共に、検体採取時の臨床データを登録シートにて収集する。末梢血/骨髄液から単核球を分離し、FISH法によりEBウイルス感染細胞の定量ならびに表面抗原分析による感染細胞同定を行う。同時に、従来法（細胞を磁気ビーズ法により各分画に分けた後に、EBウイルスを定量して、感染細胞分画を推定する方法）との結果を比較する。

<研究期間>

2009年4月21日～2027年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、検査結果、治療経過、等

試料：血液・骨髄液、等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関から提供される患者血液検体に関しては、連結可能匿名化した後に、個人が特定されない範囲内で研究に必要な情報（年齢・性・診断名・臨床症状・診断方法）を付し

て名古屋大学に送付する。外部研究共同機関へは、感染細胞同定結果のみ開示する。臨床情報の施設間での提供は関係者以外がアクセスできない状態で行う。本学の研究責任者がプライバシーの保護に努める。

5. 研究組織

研究責任者

医学系研究科ウイルス学・教授・木村 宏

研究分担者

名古屋大学医学部附属病院小児科・助教・鳥居ゆか、医員・鈴木高子

名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学・助教・葉名尻良

共同研究施設/共同研究者

国立がんセンター中央病院・血液腫瘍科・部長 伊豆津宏二

聖マリアンナ医科大学・医学部・血液腫瘍内科・講師 磯部泰司

東京医科歯科大学・小児科・教授 金兼弘和

静岡県立こども病院・血液腫瘍科・医長・堀越泰雄

神戸市立医療センター中央市民病院・血液内科・医長 平本展大

大阪公立大学大学院医学研究科・血液腫瘍制御学・病院講師・久野 雅智

大阪市立総合医療センター・血液内科・医長 吉田全宏

岡山大学医学部・皮膚科・助教 平井陽至

九州大学医学部・小児科・教授 大賀正一

京都大学大学院医学研究科・教授 高折晃史

小牧市民病院・血液内科・部長 綿本浩一

関西電力病院・血液内科・部長 平田大二

名古屋第一赤十字病院・血液内科・部長 西田徹也

島根大学医学部・小児科・教授 竹谷健

滋賀医科大学 内科学講座血液内科・教授 村田 誠

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学

久野 雅智（研究責任者）

TEL： 06-6645-3881